

n e i h h o u

你好

香港日本人学校赴任通信 No.1

香港日本人学校小学部大埔校 教諭 永井 修

まずは、お詫びから・・・。

香港へ赴任して3年目となり、初めてこちらの様子を胆振国際理解教育研究会の皆様へお伝えすることとなりましたこと、深くお詫び申し上げます...

こちらの様子をお伝えするべく、生活や学校の様子をお知らせできればと思います。

香港日本人学校小学部大埔校の校舎全景



香港日本人学校小学部大埔校
Japanese International School
Japanese Section
日本が定めるカリキュラムをもとに学習をするセクション
(7月現在514名在籍)

香港日本人学校小学部大埔校
国際学級 English Section
英語を母国語として、別カリキュラムで教育を行うセクション

以上2つの学校が入っています。

大埔校”J.I.S”の特徴

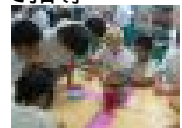
毎日の英会話

- ・ 毎日30分の英会話授業
- ・ 英会話用に編制した少人数クラス (5-6 classes)
- ・ 年に数回の English 集会
- ・ 勿論子どもの前では日本人教員も英語で会話



図工は英語で

- ・ immersion... 「どっぷり浸かる」意味
- ・ 図工の時間は全て『英語』で指導
- ・ 4年生以上の図工科は、Native speaker の教員と図工専科の日本人教員の TT 体制で指導。
- ・ カリキュラムは学習指導要領が基本です。



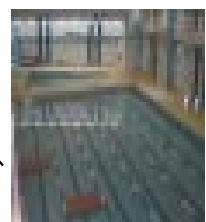
モジュール制によるカリキュラム授業

- ・ 15分の単位時間によるモジュール制
- ・ 学習内容に合わせ、弾力的に対応。
- ・ 新学習指導要領の増時数増加にも、このモジュール制のおかげで対応が可能でした。



1年間、毎週水泳！

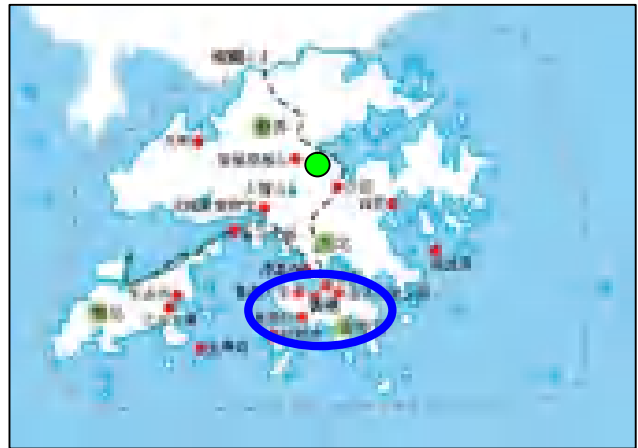
- ・ 屋内温水プールを併設の本校は、年間を通して水泳授業を実施。(毎週60分)
- ・ 現地の Swimming staff が、英語で指導。



香港の子どもたち

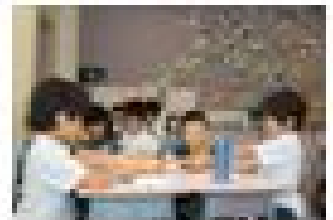
スクールバスで毎日登下校

香港日本人学校小学部大埔校は、香港の中でも「香港島」を除く地域の子どもの対象です。地図でいうと、ここです（点線で囲まれたところが、いわゆる「香港」です。が、大埔校があるところです。）青で囲まれたところは、いわゆる「香港島」で、ここには「日本人学校香港校」があります。それ以外は、大埔校の学区・・・遠い子では20km近くも離れており、通学は大変。そこで、主幹道路や地域を中心にスクールバスが走っています。「バス利用者会」という別組織が運営しており、これに入会して始めて乗れます。大埔校の学区は・・・広い！！



塾通い/習い事は、盛ん！

家と学校の往復だけで一日の生活を終える子は、少ないのが実情。日本人が経営する日本人の為の学習塾もかなり充実しているようで、そこへ通う子どもも多いです。学習への関心は日本よりは確実に高いので、そのような選択をする家庭が多いでしょう。また、野球やサッカーの少年団、または水泳やテニス、英語・・・等習い事も日本の都市部のように充実しています。



子どもの言語・国籍

大埔校へ通う子どもの言語・国籍は、様々...とまではいいませんが、日本語に限らないのも事実。広東語を話せる子は、学年の中に一人や二人はいます。英語も堪能な子はいます。保護者のうち、どちらかが日本人ではない、という家庭がどんどん増えていますので、今後も「バイリンガル」「トライリンガル」の子は増えていくのでしょうか。そして同時に、「日本人学校での教育」の上で課題が出てくるのも、容易に想像が出来ます。



転校が当たり前・・・？

海外赴任が2度目・・・という家庭もあれば、初めての転校が海外...という子もあり、子どもによって抱える不安や期待の度合いは様々。更には、入学から卒業までの6年間を大埔校で終える子がほとんどいないのも事実。だからこそ、一期一会の精神で子どもに接することが大切にしています。（次回は、「香港プチ情報」をお届けする予定です）